

小さな頃、私は自然遊びが大好きでした。夏休みになると、祖母のいる広島へ行き、毎日のように昆虫採集をして、遊びまわっていました。



しかし、娘と息子が誕生し、大人になった私は、虫に何か抵抗を感じるようになりました。子どもたちとカマキリを見つけた時、昔は、素手でも平気だったはずが、「カマキリの鎌の様な前脚が痛そ

⑩ 子は親の鏡



大阪成蹊大准教授 福岡亮治



羽化途中のセミ

うで怖いなあ」と感じ、触ることができずに逃げられてしまいました。一番のショックは逃げられたことではなく、その後、子どもたちもカマキリが苦手になったこと。私の姿を見た子どもたちもカマキ



羽化後のセミ

リが怖くなったようです。「親が虫を怖がる子どもたちも虫嫌いになる」そこに気づき、反省した私は「内心は怖くても、子どもたちの前で虫を怖がる姿を見せないこと」を決め、虫が苦手な妻にも協力をお願いし、子ども

虫を怖がる姿見せず、虫好きに成長



たちの虫嫌いは解消しました。もっと虫を好きになってもらおうと毎年、春は「越冬したチョウのサナギの羽化」、初夏頃は近所の川で「蛭」、夏は「セミの幼虫の羽化」などを観察してきました。今回は、夏休みにできる「セミの幼虫の羽化」の観察を紹介します。

①セミの幼虫を探す↓セミの抜け殻がたくさんあるところを見つけてその周辺の木の下の方や地面を探してください(日没直前から日没後が見つけやすい。幼虫は地面に1・5センチくらいの小さな穴を開けて出てきますので穴周辺にいる可能性があります)

②家の中で幼虫を観察する↓網戸やカーテンなどの幼虫がつかまりやすいものに止まらせてください(そのままでも観察できますが、羽化完了まで時間がかかるので、家の中の観察がおすすめ)

③羽化まで待つ↓上の方を目標として動きまわりますが、しばらくすると動きが止まります

④羽化を観察する↓2、3時間くらいで羽化します

⑤次の日の朝に逃がす↓朝までその場で止まっていますので、優しく捕まえて、外に逃がしてあげてください

夏休み中にぜひ一度お試しください！